

とにかくやってみよう！！

柳田 美幸

私は小学校2年生から25年間サッカーを続けました。近所の大好きなお姉さんがサッカーをやっていたことで、サッカーに興味を持ち、好きになり、夢中になり、大好きになり、自然と“サッカー選手になりたい！”という夢を持つことができました。

その中で、サッカーの街であるさいたま市をホームタウンに持つ浦和レッズ的女子チームに所属して、なでしこリーグでプレーできたこと、日本女子代表としても活動できたことは何ものにも代えがたい経験となっています。

そして、そうした経験は、私に多くの大切な気づきや学びを与えてくれました。

自分を信じること
仲間を信じること
自分で考えること
仲間と協力すること
自分の意見を持つこと
仲間の意見を聞くこと
全力でやること、などです。

もちろん、うまくいかなかったり、思い通りにいかなかったり、数えきれないくらいの失敗もありました。そのたびに、言い訳をしたり、文句を言ったり、誰かのせいにしたりと、自分のできない部分や弱い部分を真正面から受け止められず、逃げていた時期もあります。

しかし、自分のそういった部分から目を逸らし、逃げ続けると、成長も進歩もありません。サッカーに取り組む中で、私は他人ではなく素直に自分と向き合うことができるかどうかで、その後が大きく変わっていくと同時に、成長と進歩につながっていくことを学びました。

このようなサッカーを通しての学びや気づきは、人から教えられるのではなく、自分で考え、とにかくやってみたことで、経験して得られたものです。

ここ最近、世の中の風潮として、効率が重視されることが多いと感じています。でも、若い時期というのは、とにかくやってみる！ことから、考えたり、悩んだり、試行錯誤が生まれ、ふたたびチャレンジすることで、さらにたくさんの経験が得られて、学びにつながっていきます。

何にでも挑戦(トライ)して、その都度失敗(エラー)して、トライ&エラーを繰り返すことで、自分なりの解決策や方法論が確立されていきます。そして、それは必ず自分の強みになります。その強みを持った人は、困難なことや壁にぶつかったときに、自分の力で解決・克服できるはずです。

若い世代のみなさんには、とにかくやってみる！やればできる！やったらできた！の精神で、なんでも挑戦して欲しいと考えています。

挑戦の数だけ経験が増え、経験が多くの学びや気づきを与えてくれますから。

[2018.9.28 掲載]